

略歴

劉珂彬（男）、遼寧省瀋陽市出身

2008年4月～2010年3月 亜細亜友之会日本語学校

2010年4月から～現在 東京都市大学（前・武蔵工業大学）

体験してこそわかる

一人の人生において、いくつかの困難に遭遇してこそ、ものの大事さがわかるでしょう。

その理由は、私本人が日本へ留学する道は順風満帆ではなかったからです。まず、亜細亜友之会日本語学校校長先生と丁先生の手助けがなかったら来日することができなかったのも、両先生に心から感謝申し上げます。

2008年4月24日、多くの留学生と同じように私も異国に対する好奇心一杯な中、憧れと夢を持って日本の留學生活をスタートさせました。

二年間の語学学校での生活の多くは初体験でした。初めての一人生活、初めての面接試験、初めてのアルバイト……。言葉上、生活上、海外でぶつかった困難は比べられないほど国内より多いですね。学校のお世話のもとで、少しずつ問題解決のことを学んだりして、自分が日々成長し、多くの成果を遂げてきました。

二年間の学校生活は多種多様でした。四川省大地震募金活動、富士山旅行、地震体験、忘年会、スピーチコンテスト、ボウリング大会など。課外活動では古都鎌倉旅行、卒業旅行など沢山の思い出が残りました。これは私の人生にとって宝物だと思います。

日本の生活において、「継続」というとても大切な言葉があります。私の二年間の出席率は100%でした。一つのコマも一日も授業をサボったことがありません。これは語学学校の校長先生と先生たちから「功夫不付有心人」の道理を教わったからです。2009年4月から、日本学生支援機構の月48,000円、年額576,000円の奨学金を獲得したことは、学習生活において大変助かりました。

また、先生方のご指導の下、東京都立大学（前・武蔵工業大学）に無事進学しました。大学進学後も、日本に来た時の苦勞及び先生方の教えを忘れず自分の目標に向けて頑張っています。

最後ですが、校長先生、丁先生、大塚先生などに大変お世話になったことを心から感謝申し上げます。亜細亜友之会日本語学校で勉強できたことは、私の人生において大きな幸運でもあります。

体験してこそ、日本を選択してよかったことがわかる

体験してこそ、できないと思われることもできるようになる道理がわかる

体験してこそ、わかる。

劉珂彬続編

2008年4月～2010年3月 亜細亜友之会日本語学校

2010年4月から～2011年3月 私立 東京都市大学（前・武蔵工業大学）

2011年4月～現在 国立 茨城大学

「一生懸命に努力するほど、運が味方になる」

再度、皆様に私の経歴を紹介させていただくことを嬉しく思い、少しでも皆様の力になればと考えております。

2010年東京都市大学に合格しましたが、国立大学への進学したい夢は消えませんでした。改めて国立大学を受験することを、家族と友人には当然のこのように反対されました。

ただ、自分の人生は自分が選択し自分で歩かなければならないと思っていました。将来がどうであれ、自分にもう一回の挑戦する機会を与え、失敗したとしても将来では後悔しないだろうと思ったからです。

このように反対の声が大きい中、母校の野左近校長と丁先生は、私が卒業したにもかかわらず、唯一励ましてくれました。また、再度大学を受験するとしても、進行中の大学授業は怠らないようくれぐれも言い聞かせてくれました。このように大学の授業を受けながら、大学受験に再度挑戦することにしました。

日本では、このような人を「仮浪人」と称しています。仮浪人の私は大学の授業を軽視はしませんでした。243名の学生が在籍する学部で、私は学部でGPA成績が第7位、クラスでは第1位、留学生の中では第1位でした。日本の大学では卒業単位が124単位ですが、1年生なのにすでに49単位を取得しました。

授業以外において、大学のクラブ活動ではJSO学生委員会に所属し、第一号留学生でした。クラブ活動の中で多くの友達を作りました。また、活動の中で強い事務能力、チームワーク協力精神を持った日本人学生の姿を見ることもできました。1年生後期にはISOクラブのエネルギー担当に推薦されました。日本の大学では、授業以外に最も楽しいのはクラブ活動でした。

留学試験準備の時間があまりありませんでしたが、一生懸命でしたので、2010年留学試験では2009年成績より150点上回る好成績を収め、順調に国立茨城大学に進学することができました。

日本の国立大学はメリットが多くあります。社会的な評価が高く、教員の質も良く、留学生への支援も充実している等。また、留学生においては学費が私立大学より半分以下で、様々な奨学金も用意されています。これは留学生の費用負担が大幅に軽減され、学業に打ち込むことができると言えるでしょう。

茨城大学で既に生活していますが、大学の雰囲気がよく、この大学が好きになりました。

現在の私に対し、幸せだと思い、当初自分が明確な目標を決めていたことを嬉しく思います。頑張れば幸運も自分の味方になることを確信しています。「一生懸命に努力するほど、運が味方になる」。

最後になりますが、助けてくださった亜細亜友之会日本語学校に感謝しています。私の例から見ても皆様がお分かりになるように、亜細亜友之会日本語学校の卒業生に対するアフタサービスは、他の日本語学校にはない大きな違いだと思います。当初、親が亜細亜友之会日本語学校を選び、これを日本留学の出発点にしたことを幸いだったと喜び祝っています。

2011年6月18日